

JAKOB SCHARF

- Director General of the Danish Security and Intelligence Service (DSIS) from 2007-13

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Jakob Scharfは、デンマークの安全保障情報局の元事務局長です。彼の任期中、彼は国家安全保障上の利益と同様に民間企業に影響を与えるテロとサイバー脅威に対処しました。彼は2014年に辞任して以来、CERTA Intelligence Security民間企業に情報、分析、およびセキュリティに関するアドバイスを提供するコンサルタント会社のエグゼクティブディレクターです。

マスタークラスの概要

技術開発は、新たな機会だけでなく、テロ、政治的過激主義、スパイ活動、組織犯罪、サイバー脅威などを含む、新たな脆弱性とリスクも生み出しました。今日、セキュリティ関連のリスクは企業のリスク管理の統合された部分でなければならず、特定の脅威を識別、防止、および対処するだけでなく、特定のインシデントから回復するための企業の能力に焦点を当てる必要があります。戦略的な企業セキュリティとリスク管理に特化したこのマスタークラスでは、Jakob Scharfがエグゼクティブチームと協力して、ビジネスを世界の新たな脅威に適応させる手助けをします。

価値と期待される成果

- テロ、政治的過激主義、スパイ行為、組織犯罪、サイバー脅威、および民間企業に関連するその他の重大なセキュリティ上の脅威に対する独自の洞察
- 民間企業が新たな世界的脅威に適応するために必要な方法を完全に理解する
- セキュリティ関連の脅威、リスク、および脆弱性に対処するための組織の成熟度に関する具体的な評価

何がカバーされていますか？

Jakob Scharfが一連のディスカッションを通してあなたを導きます。それはあなたが以下の質問に答えるのを可能にします：

- 組織に影響を与える最も関連性があり、重要なセキュリティ関連の脅威とリスクは何ですか？
- セキュリティ関連のインシデントが発生した場合、結果はどのようなものになりますか、また組織はどの程度脆弱になりますか？
- 組織内のセキュリティレベルとセキュリティ文化は適切ですか？
- あなたの組織は、そのような戦略、計画、ガイドライン、およびセキュリティ対策を実施していますか。これらは必要かつ期待されていますか？
- あなたの組織はセキュリティ上最も安全な方法でそのリソースを使っていますか？

Topics

- Cyber Security
- Risk
- Technology

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988